

定住自立圏共生ビジョンに係る取組の実施状況について

1 医療分野

【事業No.1】診療所情報共有・啓発事業

県央地域の休日夜間緊急診療所の開設状況，救急医療の周知等を行い，適正受診の意識啓発を図る。

○ガイドブックの作成

救急医療の現状及び適正受診の啓発のためのガイドブックを 39 万 4 千部作成し，圏域の全世帯及び転入者等に 12 月に配布予定。

○診療所情報ホームページ掲載

5 月に構成市町村のホームページに掲載。

○広報紙への掲載

救急医療適正受診啓発の記事を構成市町村の 11 月の広報紙へ掲載予定。

○健康セミナーの実施

適正受診の啓発を行い，地域医療の確保を図ることを目的に実施する。

開催期日：11 月 25 日（土），会場：茨城県立健康プラザ，講師：順天堂大学小児科医，
対象：県央地域に居住する未就学児の親，テーマ：「子どもの救急について」，募集定員：135 名

【事業No.2】診療所運営支援事業

水戸市休日夜間緊急診療所の運営経費に対して財政支援を行い，運営体制の充実を図る。

【事業No.3】産婦人科医確保事業

安定的な医師の確保に苦慮している水戸赤十字病院に対して，産婦人科医の確保のための経費について，財政支援を行い，圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を維持し，県央地域として周産期医療を支える。

【事業No.4】小児科医確保対策事業

圏域内の小児科医の現状把握のための調査，情報収集等を行い，医療部会で医師確保対策を協議するとともに，年度内に行政だけでなく，医療関係者（医師会，公的病院等）を交えた意見交換の場を設け，今後の方向性について検討する。

【事業No.5】看護師等確保事業

潜在看護師の復職支援を行うことで看護師の確保を図るため、茨城県看護協会と連携して病院見学ツアーを実施した。

○病院見学バスツアーの実施

開催期日：8月30日（水）、参加者：7人

事業内容：水戸済生会総合病院及び水戸市医師会訪問看護ステーションみとを視察し、働く現状についての話やカムバックセミナー出身者との意見交換などを行った。



看護師復職者との意見交換

【事業No.6】小中学生病院体験ツアー事業

小中学生が医療現場を体験し、医療に対する理解を深め、将来の選択肢として医療従事者を目指す動機付けを図ることを目的に実施した。

開催期日：7月29日（土）、会場：水戸赤十字病院、参加者：県央地域内の小中学生29人、テーマ：「病院はどんなことをやっているのかを知ってもらおう」



縫合体験に挑戦する児童生徒

2 福祉分野

【事業No.7】成年後見制度の普及啓発

○パンフレットの作成・配布

成年後見制度の普及啓発のパンフレット及びチラシを6千部作成し、構成市町村の関係窓口に設置した。

○広報紙への掲載，ホームページ作成

○成年後見制度に関する住民向けの学習会・相談会の開催

- ・7月11日（火）に笠間市で権利擁護講演会を開催し，85名が参加。
- ・9月24日（日）に小美玉市の「にっこり祭り」に特別ブースを設置し，学習会を開催。
- ・12月7日（木）に那珂市で学習講演会を開催予定。
- ・平成30年1月下旬に城里町で開催予定。



笠間市で開催した権利擁護講演会

【事業No.8】成年後見制度の利用支援

<相談件数>

4月	5月	6月	7月	8月	計
16件	24件	32件	24件	29件	125件

【事業No.9】市民後見人の養成及び活動支援

来年度から実施する市民後見人養成講座及び活動支援体制についての計画を策定中。

【事業No.10】成年後見制度法人後見支援

来年度から実施する各市町社会福祉協議会を対象とした成年後見人養成研修について，その内容や法人後見支援体制の構築に向けた検討を行う。

【事業No.11】法人後見の受任

圏域内において首長申立てにより後見を開始する案件について，成年後見を受任する。

受任件数 5件

【事業No.12】県央地域成年後見支援事業の運営支援

県央地域成年後見支援事業を実施する水戸社会福祉協議会に対し，運営経費について支援することにより，安定的な事業の推進を図る。

3 産業振興分野

【事業No.13】県央地域内の観光マーケティング調査

圏域を訪れる観光客の年代層や訪問エリア，滞在期間等を把握し分析を行う，観光客動態調査を実施中。

【事業No.14】県央地域魅力発信事業

○観光キャンペーンの実施

- ・場所：茨城マルシェ
- ・期日：7月20日（木）

○広告の出稿，「いばらき県央地域観光協議会」ホームページの充実

○物産イベントの実施

観光物産イベントを通じ，商品力の強化や販売促進につながるPRを実施する。

- ・12月11日（月）に「発掘！いばらき県央おいしい手土産品評会」を実施予定。

○観光ガイドブックの多言語化

【事業No.15】周遊型観光の推進事業

○ツアーの造成事業

国内外からの誘客を図るため，各地の地域資源を連結させたツアーの造成・販売を目指し，今年度は地域資源の発掘や磨き上げなどにより，商品化のための検討を行う。

マーケティング調査の結果を踏まえ，10月以降にワークショップ等を開始する。

○周遊イベントの開催

- ・平成30年3月下旬に第2回水戸八景グルメライドを実施予定。（募集定員：100名）

4 環境分野

【事業No.16】エコライフチャレンジ

10月～11月の電力使用量（電力会社からの「電気ご利用量のお知らせ」11月分）と1年前の同時期の電力使用量を比較し，その削減量を競うものである。これまでは行政職員や小学生を対象に実施してきたが，今年度から圏域住民まで対象を拡大した。また，参加賞についても，統一した参加賞を配布し，取組を推進していくこととした。

【事業No.17】環境啓発イベントへの相互参加

各市町村が行っているイベントのほか，環境活動や学習会などの情報も集約して発信していくことにより相互参加につなげていくため，各市町村の事業などの情報収集を行う。

5 教育分野

【事業No.18】 公の施設の広域利用に係るPR事業

○「いばらき県央地域ガイド」ホームページの充実、パンフレット等の作成

○キャンペーンの開催方法の検討

圏域内における体育施設や図書館などの公の施設の広域利用対象施設は 78 施設ある。
来年度実施する利用促進キャンペーンに向け、今年度は、開催方法等について検討を行う。

【事業No.19】 公の施設の広域利用に係る利便性向上事業

○アンケート調査の実施

住民の利便性向上を図るため、利用者のニーズを把握するアンケート調査を今年度中に実施する。

6 地域公共交通分野

【事業No.20】 公共交通の維持・確保

○先行事業の実施（城里町）

路線バス石塚・赤塚線の運行（平成 29 年 4 月 1 日から 1 日 8 便 4 往復運行）

＜利用状況＞

4 月	5 月	6 月	7 月	計
753 人	780 人	830 人	934 人	3,297 人



路線バス石塚・赤塚線の出発式

○事業の需要調査（笠間市）

今年度、笠間市と水戸市の隣接地域の住民ニーズを把握し、JR内原駅等の交通結節点に接続する最も効果的な地域公共交通の形態及びその運行に係る実施計画についての検討を行う。

【事業No.21】公共交通の利用促進

○ノーマイカーウィークの実施

公共交通の利用促進をはじめ、環境負荷の低減等を目的に、構成市町村の職員を対象にノーマイカーウィークを実施した。

＜第1回目実績（平成29年6月1日～6月7日）＞

- ・対象職員：7,608人
- ・ノーマイカーウィーク実施者数：2,449人（取組率：32.2%）

【内訳】

水戸市	笠間市	ひたちなか市	小美玉市	那珂市	茨城町	大洗町	城里町	東海村	合計
1,225人	157人	269人	154人	223人	142人	134人	14人	131人	2,449人

※第2回目は、対象者を事業者、住民まで拡大し、平成29年10月1日～7日に実施。

7 人材育成分野

【事業No.22】職員の能力向上に向けた研修会の合同開催及び相互参加

- ・構成市町村が開催する研修会への相互参加について、受入れ可能な研修を検討中。
- ・来年度から実施する合同研修について、その内容や役割分担等を協議中。